

## 井原市教育委員会 8 月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 令和3年8月17日(火)
2. 開 会 令和3年8月25日(水)15時00分
3. 閉 会 令和3年8月25日(水)16時25分
4. 会議の場所 井原市役所403会議室
5. 出席又は欠席した委員  
出席委員 教 育 長 伊 藤 祐二郎  
教育長職務代理 藤 井 秀 彦  
委 員 奥 田 隆 夫  
委 員 佐 藤 和 代  
委 員 西 田 友 美  
欠席委員 なし
6. 会議に出席した職員  
平木学校教育課長 成智生涯学習課長 高田文化課長 川上スポーツ課長  
立花学校給食センター所長 池田文化課長補佐 亀田教育総務課長補佐
7. 教育長が提示した協議事項
  - ・井原市学校給食のアレルギー対応について
  - ・成年年齢引下げに伴う成人式の方針について
8. 傍聴者 なし
9. 議 事
  - (1) 開 会
    - ・伊藤教育長が開会を宣言  
定刻がまいりましたので8月定例会を開会いたします。  
～時候のあいさつ～
  - (2) 前回会議録の承認・公開について
    - 【伊藤教育長】前回会議録の承認、公開について、事務局から説明をお願いします。
    - 【亀田教育総務課長補佐】前回7月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。本会議終了後にご署名をいただきますので、よろしく願いいたします。なお、報告第33号は人事案件、議案第20号は会議規則第15条第1項第6号を適用し、議事録に記載しないことといたします。以上です。
    - 【伊藤教育長】事務局からの説明につきまして、承認することとしてよろしいでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】では、そのように処理させていただきます。

### (3) 教育長の報告事項

【伊藤教育長】次に、報告事項に移ります。私の方で資料を用意しております。

— 学校経営アクションプランから、学校が目標を達成するうえでの重要事項、手法等について説明 —

— 夏季休業中のオンライン学習の試行について、夏季休業中の行事について、大雨による学校等での避難所開設について、2学期のスタートにあたって、2学期以降の学校行事の実施について それぞれ報告及び説明 —

### (4) 議 事

#### 協議事項

#### □井原市学校給食のアレルギー対応について

— 教育委員会会議規則第15条第5号の規定により非公開 —

#### □成年年齢引下げに伴う成人式の方針について

【伊藤教育長】次に、成年年齢引下げに伴う成人式の方針についてを議題とします。事務局より説明をお願いします

【成智生涯学習課長】

— 資料読み上げ —

【伊藤教育長】ご意見、ご質問はありませんか。

【伊藤教育長】実際のところ、令和2年度の成人式が残っていて、それが令和4年の1月3日、令和3年度のものでその翌週という状況で、その次の年の事になります。

【藤井職務代理】名称がどうなりますかね。

【伊藤教育長】最初の実行委員会で名称を決めたら、それを続けるのがよいのかなと思います。全国的に今発表しているところは、従来どおり20歳でするところが多いですが、まれに18歳できるように打ち出している市も全国のなかにはあります。ですから最初の年は18、19、20才の3学年を対象としなくてはいけないことになります。

【伊藤教育長】他にないようですので、この件につきましては、以上とさせていただきます。

以上で、予定しておりました議事は、全て終了いたしました。

(5) その他

【伊藤教育長】 その他として、まず、学校園に対するコロナウイルス感染症対策について説明をさせていただきます。

【平木学校教育課長】

— 資料読み上げ —

【伊藤教育長】 ご意見、ご質問はありませんか。

【西田委員】 学校が始まるにあたって、感染リスクが高い行動は避けることが必要ですが、一番心配なのは給食です。学校の給食で人数が少ないところはまだしも、中学校などの人数が多いところで、子ども達に黙食と言っても気が緩んでしまって、その場合での感染が防げるのかというのが不安に感じています。もう一点、幼稚園で感染者がでたときには、保護者が家族の方に熱があっても預けられていたので、園での感染を心配された、そういった場合は、保護者に配布される文書は、家族に熱が出た場合も登校させないことを今一度、今回は特に徹底して伝えていかなければならないと思います。

【伊藤教育長】 我々もそのことを思っております。保護者あての文書は、線を引いているのが、家族に発熱の症状がある場合は登校しないということと、陽性とかPCR検査の時は連絡をしてくださいと、この2つがポイントであると思っており、おっしゃられるとおりだと思います。

【平木学校教育課長】 給食については、給食時間は特に小学校では、水を打ったような状態です。どの学校も黙食を徹底して頂いております。しかし、心配はありますが、教室を分けてという対応も難しいですし、弁当ということになれば、学校は楽になりますが保護者の方は毎日弁当づくりが大変だと思います。

【西田委員】 学校での給食の場は、仕切りもなく黙って食べるということが安全なのかなと感じています。

【伊藤教育長】 今のご意見でいけば、午前中の授業で帰るか、休校にするしかない。昨年全国的に一斉休校がありました。一斉休校にはしていますが、子どもたちの居場所がないため、学校で一時預かりをしてその子達はその後弁当を持って放課後児童クラブに行っていてそこで食べている状況があった時に、保護者の方がお弁当を作る負担感というような声は、随分こちらの方へ届いている部分もあります。

【西田委員】 子どもの学びを止めることはしてはいけないと思います。でも同時に飲食を伴う場面は感染リスクがあると言われていたなかで、保護者からすれば、しっかりと感染症対策をして頂くようお願いするしかないことをお伝えしたいと思います。

【伊藤教育長】 これからの時期ですと、窓を開けるとか最大限できることを丁寧にやっていくしかないのかなと思っております。これだけ感染者がでていることをみんなが意識することも大切なのかなと思っております。

【平木学校教育課長】 食べるということは、世の中のみんながしないといけないことで、飲

食店も夜を云々と言いますが、当然昼は開いてるわけで、そこで皆さん食べられているなかで食べられている方がみんな陽性と言う話しではなくて、やはり向かい合っっちゃべり合いながら食べている人が危険なわけですので、学校で同じ方向を向いて食べる時以外はマスクをした状態を徹底していくしかできない。それが危ないということになれば、午前中で帰るとか休校にするしかなくなってしまうので、今の対応をしっかりと学校の方へお願いをするということにさせて下さい。

【伊藤教育長】もう一つとして、今、給食というのが子どもらに必要なことであるとともに、おそらく保護者の方にとってもかなり必要なものだと思います。1学期に大阪で休校やオンラインの授業をやっていこうというのがありましたが、その中でも給食はやっていました。要するにそこを止めると子ども達の中には、お昼を保護者の方が準備できにくいというようなこともある。今言われるようにリスクなところですが難しいところでもあるのかなと、できる対策をしっかりとやっていくしかないと思っております。

【奥田委員】ワクチンの接種が進めば、不自由な思いをしなくても済むのではないかと思います。スムーズに進んでくれば、症状が抑えられるというデータも出ていますから、前に進めていけば良いのではと思います。教職員や中学生への接種は難しいんですかね。

【平木学校教育課長】中学生には接種券は届いてるはず。予約をして、もう接種している人も多くいると聞いています。

【奥田委員】教職員の接種状況はどうですか。

【平木学校教育課長】随時接種はされています。

【奥田委員】教職員も常時子どもに接するわけだから、優先的に接種を進めればと思いますが。

【伊藤教育長】井原市もエッセンシャルワーカーということで、幼稚園の教職員には優先的に接種をしました。小中の教員にはそれぞれでの対応となっています。また子どもへの接種については、保護者の方の考えによるところが大きいと思います。県内では、総社市が小中学生の集団接種を学校でやりましょうというのを打ち出しました。その後市民の方からたくさんの抗議の電話があつて、結局それを取りやめ、個人の対応として、必ず保護者が同伴とか保護者の同意をもらって接種するようになっています。

【伊藤教育長】その他に委員のみなさんから何かございますか。

【佐藤委員】緊急事態宣言が発出されている状況なので、内容として相応しいかどうか分かりませんが、7月の終わり頃に、他市の事ですが参観日がオンラインで35人中28人位が参加して良かったという話を聞きました。こういうことも先々考えられるのかなと思いました。

【奥田委員】オンライン授業について、市としてなかなか難しい面があると思いますが、時期的なことは。

【平木学校教育課長】夏休みにタブレットの持ち帰りを行うことを4月・5月に校長先生方

にお伝えした時に職員の反応としては、家庭での通信ができない家庭があったらどうするのかとか、持ち帰ると壊してしまうなどの批判の声の方が多くありました。しかし、夏休みの8月に持ち帰りでタブレットを実際につないでみたらうまくいって、先生方の反応も夏休みに顔を見れない子どもたちの表情が見れて良かったと、プラスに捉える話が多く聞けました。中学校は、ひょっとしたら休校になってタブレットを持って帰って、家でやってみようとなったら、うまくいくかもしれないという状況ではないかと思っています。

【奥田委員】先生方も大変だと思いますが、オンラインで子ども達がコミュニケーションを取れたり、不登校の子が使用できたり、活用できるプラスの面がどんどんできていけば良いのではと思います。

【佐藤委員】芳井中学校の子は、持ち帰って宿題もオンラインでしていましたが、市立高校は持ち帰れないと言っていました。

【伊藤教育長】市立高校は、学校で難しいとの判断で、持ち帰っていなかったんです。

【佐藤委員】是非機会がありましたら、持ち帰りも検討してもらえたらと思います。

【西田委員】井原中も2回ほどオンラインで取り組みがありました。友だちの顔を見れると、元気そうだということも分かり良かったし、自己チェックのワークシートを使って、健康状態や宿題の進捗状態を入力して、先生がコメント入れるような取り組みもありました。

夏休みの思い出を書いて情報交換をし合って、リアルタイムに会話のような取り組みもありました。また、オリンピックで印象に残っている場面の写真を貼り付けるような少し技術があるようなものもありました。先生によってタブレットに対する抵抗感は見えてわかったんですが、画面に向かって話すのも苦手なような方もおられました。でも、すごく可能性を感じました。

【奥田委員】集団学習はもちろん大事なことですが、学びの方法も色々出てくると思います。できるところからやっていけば良いと思います。

【伊藤教育長】一番問題なのは、家庭のネットワーク環境。今回は計画的に8月いっぱいということでやっていましたが、中途半端な時期からすると、貸出するルーターの料金が例えば今日（8月25日）から始めると8月分の1月分が必要です。どこの家にも環境があるということになれば、なんとなく義務教育の公平感というのがありますので、できる家庭とできない家庭の差を思ってしまうところもあります。

【伊藤教育長】その他で別件が委員の皆様からございますか。

【奥田委員】コロナの関係になりますが、陽性が学校のなかで出て、濃厚接触者の特定は、保健所が担当してくれると思うのですが、保健所が多忙でそこまでできないというのを聞いたことがあります。井原市は保健所の指導を聞くということですか。

【伊藤教育長】文部科学大臣がコメントで、今は保健所がやっていますが、逼迫しているの

で学校でやるように方向を変えるかもしれない。ただそれには指針を示しますと言っています。そうすると学校も専門家ではありませんし、学校は学校で手一杯のところもあるので、苦しいのかなと思います。

【藤井職務代理】 デルタ株は感染力が高いですし、小学生はワクチンをほとんど未接種ですし、そのあたりが心配なところはありますね。

【伊藤教育長】 今まで、市内の幼小中それぞれ感染者はあるんですが、夏休み中だということもあって、どの範囲を学級閉鎖、学年閉鎖、全校にするのか議論が必要なかった。今度はそこらが必要になってくるので、一層大変になるのかなと思っています。保健所や校医の先生にも相談しながらやっていかなくていけないと思っています。

【伊藤教育長】 他に無いようですので、事務局から何かありますか。

【亀田教育総務課長補佐】 本日協議いただきました、協議事項のひとつ目につきましては会議規則第15条第1項第5号を適用し、非公開として会議録を作成させていただきます。

なお、公開の可否については次回定例会で承認をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

— 各担当課長から教育委員会令和3年9月行事予定表により行事予定を説明 —

— 9月定例会を9月24日 金曜日午後3時から、403会議室で開催に決定 —

【伊藤教育長】 佐藤委員の今季限りでの退任と、後任については選任の事務手続きをしており、9月市議会定例会で議決がいただけるよう進めている旨を報告。

【佐藤委員】 —お礼のあいさつ—

## (6) 閉 会

【伊藤教育長】 以上を持ちまして、8月定例会を閉会いたします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。